



害虫が家や健康を守ることに真剣な会社

(株)新潟米山薬品

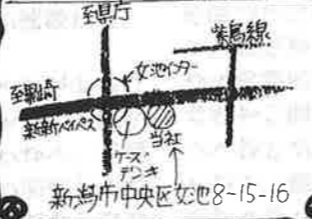
365日、24時間稼働中

いつでも連絡OK!!

TEL.025-283-6333

FAX.025-283-8345

7/24-0120-642430



ホームページ  
見てください!

新潟米山薬品

検索

皆様の困りごと、  
「ゴキブリ、クマノシロアリ、  
シロアリ、カビ、ダニ」など、  
困っている家ありませんか!!  
当社におまかせ下さい!!



# 一夢・情熱・感謝

新型コロナウイルス感染が中々治まりません。昨日で578人とがて。一時は、200人程度まで下がったのが、それが、コンタクト合は確実に増えて来ます。9月の終りには、開港5港都市会議が

新潟で行なわれました。函館、横浜、長崎、神戸の皆様が、集まってくれました。総勢130名ほど来県。各都市の現状、これから右の方が話し、新潟の街歩きを体験しました。こちらも新潟の魅力を発信に行きたいと思っております。私の所属する業界では、今年シロアリ防除士講習会の講師を務めて来まして、10月前は、受講者が300名ほどでしたが、今は60名ほどで、後は、リモート講習へ変化しています。講師は、何回も緊張しますね! 業界、ついでに、新潟県の所属で、(社)関東3県対策協会の関東会(会合)が、十日町の当向高原、ハルテオで開催しました。勉強会では、40名ほどの参加で、懇親会では、日本酒が盛り出されました。皆様、美味しいと言ってくれました。下りも、新米も時期が来ると言っています。ハルテオに感謝!

「誰にも負けぬ努力」景気が悪くなった時に愚痴をこぼす、必死に努力して会社を救う。と言ったのは、非常に堅実な経営者であり、少くも不況が来ても、ペロペロと借金で乗り切る見込みで、皆、長期間に渡り、地味な仕事を、一歩一歩続けて来た人達ばかりです。地味で、単純な仕事に生涯を捧げて打ち込んでいる人が、五派の人にならなければ、誰にも負けぬ努力を続けるのが、「平凡な人」と「非凡な人」に変えて行くのです。地味な仕事を、熱心に取り組むうちに、仕事が好きになる。仕事と好むになり、惚れてしまいました。惚れてしまえば、それこそ、志し続けられた。「惚れて通えば千里も一里」惚れたら、会いに行くと、千里の道も一歩で、一里にしか感じない。長丁場で続けるのは、辛い。仕事が好きだと言った。仕事に惚れてしまえば、苦勞が苦勞にならない。

by 京セラ社長

ネズミ駆除に使用する捕獲シート(いわゆるパットンコ)には、ネズミ以外にも変わった生物が捕獲される事があります。先日、お客様の倉庫のシートにはなんと...「マダシ」まだ元気に生きていて、戦い末、回収に成功です! (星)

仕事と趣味を通じて色々な事をする機会があり、積み重ねにより、この年で何でも出来るようになりました。まるで魔法のようですね。これからも技術と経験を積み、匠を目指したいと思っております。伏見

10月に入り、新米を倉庫に搬入する現場があります。倉庫の前室に大抵ネズミの捕獲がありました。搬入中のため、倉庫はあけっぱなし、おんなじネズミが倉庫に入ったかと思っております。大久保

先日、スズメバチ駆除で、自身の経験では過去一番に大抵、巣を撤去しました。存べく形をとり、必死に作業して、閉鎖するべく持ち帰り会社に置いておいたが、皆様からの反応は薄かったです。(泣) (平越)

先日、田んぼの草刈りで、手首を負傷しました。1週間たつと、痛みと腫れが治りません。今日、村上市の床下倉庫に、石灰を撒いて来たのですが、更に悪化してしまいました。激痛です。これを老化でしょうか? (のぶ)

10月になって、急に羽蟻が出たので、問い合わせが多くなりました。この時期に出るのは、ほとんどの羽蟻です。アリの種類は、体長1〜2mm程の、とても小さい黒アリです。白アリではないので、みな様ご安心を! 高野

とても珍しい依頼が会社に来ました。屋根の鳥を回収してくれというものです。スズメバチが屋根で力尽きているのかと思いましたが、お客様の所へ向かうと、キジが屋根の上で力尽きていました。見つけた時、笑ってしまいました。玉木

一日が、一週間が、一ヶ月が、なんて早く過ぎて、去つてしまふのでしょうか! なんて、あつという間に、一年が...。とうとう、今年10月は、我社の決算月です。気合を入れて頑張ります!! (中川)

肌寒くなり乾燥しているので、指や唇がカサカサです。お湯を使うせいで、手の甲は白く粉をふきそりです。今年もしっかりヒノキのハンド・ニークリームを塗って手を守ります。 淵田

# 亜鉛 NEWS

## 亜鉛不足が関係するからだのトラブル！免疫機能低下、糖尿病、動脈硬化、発育不全、知能低下など

今最も注目されるミネラル

亜鉛というミネラルがからだにとって不可欠であり、その不足はいろいろな健康上のトラブルを招くことが知られています。また亜鉛が重金属の仲間だということ、食品への添加も認められていません。しかしどういふわけか、赤ちゃん用の粉ミルクにはちゃんと添加されています。

必須ミネラルというカルシウムや鉄など一部のものが取り上げられてその過不足が論じられることがありますが、わたしたちのからだに不可欠なミネラルは二十種類くらいあります。亜鉛もそうしたミネラルの一つです。

亜鉛の重要性が認識され始められた背景には、体内の重要な多くの化学反応（代謝）を進めるために亜鉛が不可欠だということが解ってきたことがあります。同時に多くの



体内には亜鉛がないと働くことができない酵素があります

病気で亜鉛が不足していることも確認されています。体内には亜鉛がないと働くことのできない酵素が百種類以上もあつたのです。

亜鉛不足で成長不良に



亜鉛は成長に欠かせないミネラルです

亜鉛の欠乏症はまず中近東で報告されました。大人になつてもからだの子供のままで成長しない「小人症」と呼ばれる風土病の原因が亜鉛欠乏症によるものだったのです。

食事の中に多く含まれているフィチン酸が亜鉛をくっつけて、吸収されないまま体外に排泄してしまつて亜鉛欠乏をもたらしつたのです。

亜鉛は成長に欠かせないビタミンAを体内で活用するために必要なだけでなく、細胞分裂やからだのタンパク質を作り出すためにも欠かせないミネラルです。

ネズミを使った実験では、妊娠した母ネズミを亜鉛欠乏の状態にすると、受精した細胞は途中で細胞分裂しなくな

り、母体に吸収されて無くなつてしまします。人間を使つてこのような実験はできませんが、亜鉛不足による無脳症、脳水腫など脳の奇形が報告されています。また知能の低下とも関係がありそうです。

亜鉛不足で成長不良に

出産から一週間くらいの間に分泌されるお乳は「初乳」と呼ばれますが、初乳には亜鉛、タウリンなどがその後のお乳とは比較にならないくらい高濃度に含まれています。亜鉛不足の赤ちゃんでは「陽性肢端皮膚炎」と呼ばれる激しい下痢を伴つた粘膜炎の起ることも知られています。

亜鉛は美肌を作るミネラル

亜鉛は細胞の新陳代謝に欠かせないミネラルです。からだの中では皮膚や粘膜炎の細胞が早い代謝回転をしていますので、亜鉛の不足の影響は皮膚や粘膜炎及びやすくなりま

す。亜鉛不足で口内炎ができてやすくなつたり、肌汚くなつたり、傷がなかなか治りにくくなつたりします。吸収されやすい亜鉛を多く含むカキなどの飲用で口内炎が治つたり、肌がきれいになるのは、不足している亜鉛が補われた結果とも考えられます。亜鉛は美しい肌を作るために欠かせないミネラルなのです。

アメリカでは亜鉛を「美容ミネラル」と呼んでいます。

糖尿病になると傷が治りにくくなり、手術などが大変になります。糖尿病の際には血清中の亜鉛濃度が低下しているだけでなく、膵臓の亜鉛も半分以下に激減しています。そのため、いろいろな亜鉛不足の症状に見舞われやすくなります。

後でも述べますが、糖尿病の際にみられる精力減退、免疫力の低下、動脈硬化の進行なども亜鉛不足と決して無関係ではありません。



アメリカでは亜鉛を「美容のミネラル」と呼んでいます

亜鉛はSEXミネラル

亜鉛は男性の生殖機能の維持に深く関与します。亜鉛は精液1.0cc当たり約1mg含まれていますが、亜鉛の不足が続くと男性は間違いなく精力減退、インポテンツの状態に陥つてしまします。これを改善するためには亜鉛を補う以外に方法はありません。亜鉛は精子を作るためにも必要

精子の数



男性の精子は20年前と比べると約半分に減っています

ですが、精子の運動能を高めるためにも欠かせません。亜鉛が不足すると精子の元気もなくなり、卵細胞にたどり着いて受精させる力も失われま

す。カキの強精強壯作用や、力キで子宝に恵まれたとする報告も、亜鉛の補給効果によつて説明することができま

す。近年フィンランドの科学者から「男性の精子の数が減り続けており20年前と比べると数が半分になっている」というショッキングな報告がありました。これにも亜鉛不足は関わつていそうです。

ストレスで

亜鉛が消耗する

亜鉛はいろいろなストレスで尿中への排泄量が増えて消費量が増大します。ストレスという精神的なものばかりではありません



ストレスは精神的なものばかりではありません

長患いをして治療のためにいろいろな薬を使用しなくてはならない場合やストレスの多い生活をしている人では、亜鉛を始めとした不足しやす

い栄養素を積極的に補うことも大切になってきます。また、食物中のフィチン酸や食物繊維は亜鉛を吸着して、吸収できないまま排泄してしまします。こうした物を多く摂取するときに亜鉛不足に気をつける必要があります。

たしたちのからだにストレスをもたらしています。アルコール類の過剰、タバコ、タンパク質の過剰、リンの過剰、食品添加物、医薬品、無茶なダイエット、放射線、環境汚染などで亜鉛の消費量は増大します。